

令和3年度  
交通安全事業報告

一般財団法人 北海道交通安全協会

# 目 次

	頁
まえがき .....	1
第1 交通安全思想の普及、向上及び交通安全活動の推進	
1 関係機関・団体等と連携した交通安全活動の展開 .....	1
2 地域に根ざした交通安全活動の推進 .....	2
3 高齢者の交通事故防止等年齢層に応じた対策の推進 .....	5
4 飲酒運転根絶活動の推進 .....	6
5 スピードダウン啓発活動の推進 .....	6
6 シートベルト全席着用の促進 .....	6
7 居眠り運転防止活動の推進 .....	6
8 自転車利用者に対する各種活動の推進 .....	6
9 安全意識向上の推進 .....	7
第2 優良な運転者の養成及び訓練	
1 自動車学園における運転者教育の推進 .....	7
2 運転者支援局における効果的な運転者教育の推進 .....	8
3 安全運転技能講習等の実施 .....	8
第3 交通安全対策に関する調査研究	
1 北海道警察との連携による交通情報の活用 .....	9
2 交通事故防止に資する調査研究 .....	9
第4 交通安全活動推進センター事業の積極的な推進	
1 交通事故防止関連書籍、資料の作成事業 .....	9
2 交通規制等の広報代行事業 .....	9
3 道路使用許可の調査事業 .....	10
4 交通事故相談事業 .....	10
第5 委託事業の適正な実施	
1 自動車保管場所調査及び同データ入力業務 .....	10
2 更新時講習及び停止処分者等講習業務 .....	10
3 運転免許証更新情報提供及び高齢者講習情報提供業務 .....	11
4 原付講習業務 .....	11
5 地域交通安全活動推進委員講習等業務 .....	11
6 道路使用許可調査業務 .....	12
第6 交通安全功労者及び優良運転者等の表彰	
1 全日本交通安全協会会長等表彰 .....	12
2 北海道警察本部長・北海道交通安全協会会長連名表彰及び会長表彰 .....	12
第7 運転免許証関係申請（届出）者のための事業	

1	運転免許申請用写真の撮影	12
2	運転免許証の郵送	13
第8 地区交通安全協会等への支援		
1	地区交通安全協会等の交通安全活動推進への支援	13
2	交通事故等に係る被害者への支援	13
別表1 運転者会員数調べ（札幌方面）		
別表2 運転者会員数調べ（他方面）		

# 令和3年度交通安全事業報告

当協会は、北海道、北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、公益社団法人北海道交通安全推進委員会、一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道交通安全運転管理者協会で構成する交通安全対策七者連絡会議（以下「七者会議」という。）をはじめ、関係機関・団体、各方面交通安全協会及び各地区交通安全協会等と連携し、令和3年度の重点目標「交通死亡事故の抑止」に向けて

- 子供と高齢者の安全確保
- 飲酒運転の根絶
- スピードダウン
- シートベルトの全席着用
- 居眠り運転の防止
- 自転車の安全利用
- 安全意識の向上

を活動重点に設定し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、各種交通安全活動を推進した。

交通事故の発生状況は、

- 発生件数 8,304件（前年比 +406件）
- 死者数 120人（前年比 -24人）
- 負傷者数 9,598人（前年比 +555人）

であり、特に死者数は、北海道の交通事故統計が残っている昭和22年以降、最少であった平成30年の141人を更に下回り、過去最少を更新したが、発生件数及び負傷者数は、平成28年以来5年ぶりに増加した。

## 第1 交通安全思想の普及、向上及び交通安全活動の推進

### 1 関係機関・団体等と連携した交通安全活動の展開

#### (1) 関係機関・団体等との連携強化

七者会議の有機的連携の下、交通安全運動の重点（7項目）を軸とした通年活動、各期別運動への積極的な取組、交通安全活動計画の調整、情報交換及び広報資料の共同制作などを行うとともに、他の関係機関・団体等とも連携を密にして交通安全活動を推進した。

ア 七者会議の主要議題

- 令和3年飲酒運転根絶の日決起大会について（4/28）
- 夏の交通安全運動「セーフティコール」について（6/10、7/7）
- 飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール（8/2）
- 秋の全国交通安全運動について（8/2、8/31）
- 冬の交通安全運動セーフティコールについて（10/12：Web会議）
- 令和4年における交通安全運動の推進方針について（11/19：Web会議）
- 令和4年春の全国交通安全運動「道民の集い」について（R4/2/16：Web会議）

イ 交通死亡事故等多発に伴う緊急対策

- 宗谷総合振興局管内における飲酒運転根絶緊急対策（4/23）

- 札幌市内における飲酒運転根絶緊急対策（R4/2/14）
- ウ 北海道が主催する各種会議
  - 北海道暴走族対策推進協議会（5/18：書面開催）
  - 令和3年度北海道飲酒運転根絶推進協議会（11/10：Web会議）
  - 令和4年度交通安全運動推進会議（R4/2/16：Web会議）

(2) 市町村による交通安全活動推進のための支援

季節に応じた交通事故防止対策等を掲載した機関紙「交通北海道」、統計資料「交通ミニ統計」の発行、交通安全情報の提供及び交通安全活動資器材の斡旋等を通じ、各地区交通安全協会が市町村と一体となって行う交通安全活動を支援した。

## 2 地域に根ざした交通安全活動の推進

(1) 交通安全運動に関する広報啓発活動

ア 期別交通安全運動

(ア) 春の全国交通安全運動 4月6日(火)～15日(木)

- 道民の集い（4/6：道庁赤れんが庁舎前庭）
- 交通安全街頭啓発（4/7～15：野村證券前他）

(イ) 夏の交通安全運動 7月13日(火)～22日(木)

- セーフティコール（7/13：警察本部庁舎前）
- 交通安全街頭啓発（7/14～22：道庁東門前他）

(ウ) 秋の全国交通安全運動 9月21日(火)～30日(木)

- 2021交通安全道民総決起大会：中止（新型コロナウイルス緊急事態宣言発令）
- 交通安全街頭啓発：中止（新型コロナウイルス緊急事態宣言発令）

※ メディアや街頭のビジョン等を活用し、集中的な啓発活動を展開した。

(エ) 冬の交通安全運動 11月13日(土)～22日(月)

- セーフティコール（11/12：赤れんがプラザ）
- 交通安全街頭啓発（11/15～22：赤れんがテラス前他）

イ 交通安全の日等の運動

(ア) 飲酒運転根絶の日

- 「飲酒運転根絶の日」決起大会（7/13：かでのホール）

(イ) 道民交通安全の日（毎月15日）

- 当協会職員による交通安全街頭啓発（北30条西5丁目交差点付近）

(ウ) 自転車安全日

- サイクルセーフティキャンペーン開始式（4/9：道庁赤れんが庁舎前庭）
- 自転車安全利用の街頭啓発（4/9、4/12、5/7、7/16、10/15：野村證券前他）

(エ) 交通事故死ゼロを目指す日

- 交通安全街頭啓発（4/9：赤れんがテラス前駅前通）

ウ その他の交通安全活動

(ア) 飲酒運転0（ゼロ）を目指して！アルコール関連問題周知啓発・パネル展（12/22：アリオ札幌）

(イ) 札幌市内における飲酒運転根絶緊急対策に伴う街頭啓発（R4/2/15：札幌駅南口広場）

エ テレビ放送による交通安全広報

コロナ禍の中で、実施回数が減少した街頭啓発等の交通安全活動への補完対策とし

て、STVテレビのCM等を活用した交通安全広報を展開した。

(ア) CMによる通年の広報

4月～3月までの1年間……15秒 106回

(イ) 各期交通安全運動期間中の広報

○ フリースポット放送

各期交通安全運動10日間……15秒 各期10回 合計40回

○ 「街角30秒勝負」への出演による広報

各期交通安全運動期間中……30秒 各期1回 合計4回

オ ラジオ放送による交通安全広報

昨年に引き続き、聴覚効果による交通事故の防止を図るため、交通安全スポット企画などを展開した。

(ア) STVラジオによる通年広報

毎週金曜日午後4時35分から放送されている、「吉川のりおスーパーLIVE」の20秒CM「セーフティ北海道」で、季節や交通事故の発生傾向に応じた交通事故防止のポイント（安全な速度編、シートベルト着用編、夕暮れ早まる編、飛び出し注意編、飲酒運転根絶編、雪道編等）を発信した。

(イ) 期別交通安全運動期間中の交通安全広報

春・秋の全国交通安全運動期間中はSTVラジオ、夏・冬の交通安全運動期間中はHBCラジオのスポット放送（当協会CMソングを使用したオリジナルキャンペーンスポット）による交通事故の防止を呼びかけた。

○ 春の全国交通安全運動期間中…4/6～4/15 20秒 67回（STV）

○ 夏の交通安全運動期間中……7/13～7/22 20秒 50回（HBC）

○ 秋の全国交通安全運動期間中…9/21～9/30 20秒 67回（STV）

○ 冬の交通安全運動期間中……11/13～11/22 20秒 50回（HBC）

(ウ) ラジオ中継車と連携した交通安全広報

STVラジオ「ランラン号」及びHBCラジオ「トピッカー」の中継車を活用して、タイムリーな交通事故の防止を呼びかけた。

○ STVラジオ「ランラン号」中継…4/6 春の全国交通安全運動

○ HBCラジオ「トピッカー」中継…7/14 夏の交通安全運動

○ HBCラジオ「トピッカー」中継…11/16 冬の交通安全運動

カ デジタルサイネージ（電子看板）を活用した交通安全広報

北海道庁本庁舎1階玄関ホールの柱壁面（南側）に設置されているデジタルサイネージにより、交通安全広報を展開した。（道庁年間推定来庁者数約60万人）

○ 配信形態：1ロール4分30秒（1枠15秒、広告18枠 音声なし）

○ 放映時間：平日の午前8時から午後6時30分までの間 1日約140回放映  
（土日祝及び12月29日から1月3日までを除く）

キ 交通安全啓発資器材等の作製・配布

各運動等を効果的に推進するため、交通安全啓発の各種資料・資器材等を次表のとおり作製・配布した。

機関紙「交通北海道」	156,000 部
各種夜光反射材	31,000 個
飲酒運転根絶啓発用うちわ	10,000 枚
飲酒運転根絶啓発用マウスパッド	20,000 枚
反射タスキ（両面反射）	5,000 本
運転免許証自主返納者への返礼品（リフレクター）	20,000 個
交通安全旗	500 枚

光って安全・安心「反射マスク」	5,000 枚
交通安全啓発用「交通安全ブラックブラックガム」	6,000 枚
交通安全啓発用ティッシュ・カットバン等	5,100 組
交通ミニ統計	3,800 部
令和4年交通安全啓発用カレンダー	800 組
各種交通安全啓発チラシ	5,000 枚

(2) 交通安全計画への参画、支援

市町村の交通情勢に即した交通事故の抑止目標や交通安全計画の策定に積極的に参画するとともに、地域住民の交通安全意識の向上と交通安全運動の活性化を図るため、地域交通安全活動推進委員による違法駐車防止活動、自転車の正しい乗り方指導及び高齢者交通安全指導などの活動への支援と活動状況の広報など地域に密着した交通安全活動を展開した。

(3) 企業等が実施する交通安全活動への支援

企業や事業所が実施する交通安全大会や街頭啓発活動等をより効果的に推進するため、交通安全啓発用チラシの無料提供のほか、交通安全のぼり旗、交通安全啓発用DVD及び交通安全教育資器材の無料貸出し等を支援した。

ア 企業等が行う交通安全活動の後援

- 第19回バイクにフレンドシップinさっぽろ  
(7/4 札幌地区二輪車普及安全協会)
- HBCラジオ交通安全キャンペーン  
(9/25~12/14 北海道放送)
- 第48回(令和3年度)JA共済全道小・中学校交通安全ポスターコンクール  
(9/28 JA共済連北海道)
- 冬期違法駐車撲滅キャンペーン2022  
(R4/1/1~3/31 読売新聞北海道支社、(株)読売エージェンシー北海道支社)
- 北海道モーターサイクルショウ2022  
(R4/3/12、13 北海道二輪車商業協同組合)

イ 交通安全啓発用資材の貸出状況

- 交通安全タスキ…100本

ウ 交通安全啓発用DVDの貸出状況

- 保有数…103種類179本、貸出数…169回延べ366本

エ 交通安全教育資器材の貸出状況

- 自転車シミュレータ…6回
- クイックアーム……………4回
- クイックキャッチ……………1回
- クイックアーム……………2回
- 酒酔い体験ゴール……………14回

(4) 「チャレンジ・セーフティラリー北海道」の実施

7月1日から10月31日までの4カ月間、当協会、北海道交通安全推進委員会、北海道安全運転管理者協会、自動車安全運転センター北海道事務所及び同センター各方面事務所が主催する無事故・無違反運転を競う自主参加型交通安全活動「チャレンジ・セーフ

ティラリー北海道2021」を実施した。

期間中の無事故・無違反の達成率は、97.7%で前年を0.9%上回る過去最高の好成績となった。

【参加者達成状況】

【未達成者内訳】

区 分	達 成 者	未達成者	交通事故(件数)			交通違反	
			死亡	重傷	軽傷	件 数	人 員
参加人数	143,502	3,295					
構成率(%)	97.7	2.3					
参加者146,797人(前年比+3,639人)							
令和3年度			1	4	77	3,313	3,224
前年比			0	-3	-39	-1,622	-1,513

### 3 高齢者の交通事故防止等年齢層に応じた対策の推進

#### (1) 高齢者の交通事故防止対策

##### ア 高齢者交通事故防止2大対策

高齢者が当事者となる交通事故が増加傾向となっている現状から、高齢運転者及び高齢歩行者を対象とした、高齢者交通事故防止2大対策を重点的に展開した。

##### (ア) 高齢ドライバー無事故チャレンジの実施

今年度新たに、7月1日から10月31日までの4カ月間、高齢運転者の交通安全意識の高揚と交通事故防止を目的に、70歳以上の高齢運転者を対象とした「高齢ドライバー無事故チャレンジ2021」を各方面及び各地区交通安全協会の協力を得て実施し、参加者8,466人の中から抽選で、無事故達成者100人に「無事故チャレンジ賞(2千円の商品券)」を贈呈した。

##### (イ) 光って安全！高齢歩行者無事故チャレンジの実施

9月1日から12月31日までの4カ月間、高齢歩行者の交通事故被害防止と反射材の普及・活用の促進を図るため、65歳以上の高齢歩行者を対象とした「光って安全！高齢歩行者無事故チャレンジ2021」を北海道警察と共同で、各方面及び各地区交通安全協会、北海道地域交通安全推進委員連絡協議会の協力を得て実施し、参加者12,919人の中から抽選で、無事故達成者200人に「無事故チャレンジ賞(2千円の商品券)」を贈呈した。

##### イ 反射タスキを活用した自転車・二輪車等の交通事故防止対策

令和3年6月、札幌市内において自転車で出勤途中の新聞配達員が乗用車に追突され死亡するという交通事故が発生したことから、この種交通事故を防止するため、当協会において反射タスキ5,000本を作製し、北海道警察との共同により道内の新聞販売所等、自転車・二輪車の乗車配達員へ配布した。

##### ウ 光って安全・安心「反射マスク」の配布

9月中旬、夕暮れから夜間にかけて多発する高齢歩行者の交通事故を防止するため、当協会オリジナルの反射マスク5,000枚を、各地区交通安全協会を通じて高齢者の利用施設や老人クラブ等に配布・贈呈した。

##### エ 運転免許自主返納者に対する交通安全対策

今年度新たに継続事業として、令和4年1月中旬から北海道警察と共同で、運転免許証を自主返納した65歳以上の高齢者へ、これまでの交通安全を労うとともに、歩行中の交通事故防止に資するため、ミニ感謝状と夜光反射材をセットにした啓発品を全道の運転免許試験場及び警察署において贈呈を開始した。

#### (2) 子供の交通事故防止対策

新入学児童を対象に交通安全啓発グッズ(反射材、自転車安全教室冊子、新入学児童



交通安全啓発チラシ) を寄贈したほか、通学路周辺の交差点において安全指導を実施した。

#### 4 飲酒運転根絶活動の推進

##### (1) 飲酒運転根絶キャンペーンの推進

道、道警察、関係機関・団体と連携し、街頭啓発等を通じて飲酒運転根絶を呼びかけた。

- 飲酒運転根絶啓発用うちわ……………10,000枚
- 飲酒運転根絶啓発用マウスパッド…20,000枚

##### (2) 飲酒運転に対する危険性・悪質性の周知徹底

酒酔い体験ゴーグルによる疑似体験や、飲酒運転で家族を失った交通事故被害者遺族の体験を綴った手記集「癒やされぬ輪禍パートⅢ」の普及等を通じ、飲酒運転の危険性と悪質性を広く周知した。

- 酒酔い体験ゴーグルの貸出回数……………14回
- 「癒やされぬ輪禍パートⅢ」販売数……………12,935冊

#### 5 スピードダウン啓発活動の推進

高速走行がもたらす被害の重大性などについて、テレビ、ラジオ、ホームページ等の各種広報媒体を通じた広報啓発活動を実施した。

#### 6 シートベルト全席着用の促進

関係機関・団体と連携し、街頭啓発等を通じて全席シートベルト着用の向上を図った。

#### 7 居眠り運転防止活動の推進

居眠り運転による重大交通事故を防止するため、「居眠り運転防止のぼり旗」の掲出のほか、居眠り防止「交通安全ブラックガム」などの啓発品を配布した。

#### 8 自転車利用者に対する各種活動の推進

##### (1) 自転車安全利用の周知・徹底

###### ア 自転車教育資料の配付

子供と保護者を対象にした自転車教室に有効活用するための教育資料「自転車安全教室」を配付し、自転車の安全利用の向上に努めた。

- 教育資料「自転車安全教室」…11,350冊配布

###### イ 自転車安全教室の開催

各地区交通安全協会や北海道警察等と連携し、各学校等において自転車安全教室を開催した。

区分	札幌方面	函館方面	旭川方面	釧路方面	北見方面	合計
回数	546	86	151	64	101	948
人員	53,314	5,862	15,586	5,606	6,359	86,727

##### (2) 自転車安全教育指導員研修会の開催

6月12日、旭川運転免許試験場において開催を計画していた、自転車安全教育指導員講習会については、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言期間中であったため中止した。

(3) 交通安全子供自転車大会の開催

7月10日、農試公園ツインキャップにおいて開催を計画していた、交通安全子供自転車北海道大会については、新型コロナウイルス感染症拡大によるまん延防止等重点措置期間中であったため中止した。

なお、8月21日、滝上町交通安全協会が主催した「交通安全子供自転車滝上ミニ大会」を協賛し、運営に要する経費を助成した。

(4) 自転車損害賠償保険等への加入促進

ア 自転車安全整備制度「TSマーク」

安全に整備された自転車の利用促進を図るため、自転車安全整備制度をホームページや機関誌「交通北海道」で紹介し、自転車の安全整備によるTSマークの普及を図った。

○ TSマーク交付数…1,510枚（前年比 - 640件）

イ 自転車保険「サイクル安心保険」

全日本交通安全協会による、被害者の救済と加害者の経済的負担軽減を目的としたサイクル安心保険事業に賛同し、本事業の普及・加入の促進を図った。

○ 加入件数…2,654件（前年比 + 354件）

## 9 安全意識向上の推進

(1) 反射材着用の促進

テレビ、ラジオ、ホームページ等の広報媒体を活用し、夜間等における歩行者の交通事故防止対策に有効な反射材、反射マスクの着用促進に向けた広報啓発活動を展開した。

(2) デイ・ライト運動の推進

関係機関・団体と連携した街頭啓発などを通じて、昼間の交通事故防止に効果がある「デイ・ライト運動」の実践について呼びかけた。

## 第2 優良な運転者の養成及び訓練

### 1 自動車学園における運転者教育の推進

(1) 安全・安心な交通社会を実現するための運転者の養成

ア 総合的・体系的な初心運転者教習の実施

新規運転免許取得教習生に対しては、「しっかり止まって・はっきり確認」を教習のモットーに掲げ、総合的かつ体系的な初心運転者教習を行った。

運転免許取得のための入校者状況については、新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う休業はなく入校者数は増加した。

【取得免許別入校者の状況】

区分	普通	普通二	準中型	中型	大型一	大型二	大型特殊	けん引	二輪	合計
令和3年度	649	22	10	59	118	65	128	56	137	1,244
前年比	+144	-3	-11	-22	+26	-13	+39	+19	+21	+200

イ 自動車教習所における地域の交通安全教育センターとしての活動

休校日を利用した民間会社及び地域住民等を対象する交通安全教育は、一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見送った。

なお、交通安全運動期間中を中心に街頭啓発活動（4回）及び広報車による交通安全の呼びかけ（4回）を行った。

ウ 冬道安全運転講習会の実施

冬道安全運転講習会は、一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見送った。

エ 既得運転免許所有者に対する講習

対象者に対し、交通事故防止に資する実践的な交通安全教育（講習）を実施した。

(2) 若年運転者教育の推進

ア 若年者特別講座等の充実

25歳未満の教習生に対し、教習時間外に1時限の「若年者特別講座」を開設して、スピードの脅威、若年運転者の運転特性等をテーマに取組、安全運転意識の高揚に努めた。

イ 卒業生に対する継続指導

春・秋の大型連休等事故多発期を重点に、電話指導やEメールを通じた特別指導を継続して行い、交通事故防止を呼びかけた。

【継続指導の実施状況】

区分	電話指導	招致指導	Eメール	レター指導	合計
令和3年度	2,011	260	7,361	1,059	10,691
前年比	+1,101	+42	+427	+230	+1,802

(3) 高齢運転者教育の推進

高齢者講習専門の施設である「交通安全教育センター」において高齢者講習を積極的に実施し、受講者数は増加した。

【高齢者講習の実施状況】

区分	法定講習		3号講習	合計
	70～74歳	75歳以上		
令和3年度	1,682	2,537	0	4,219
前年比	-204	+375	±0	+171

## 2 運転者支援局における効果的な運転者教育の推進

(1) 法定講習内容の充実

違反者講習、停止処分者講習及び更新時講習等の法定講習は、北海道の交通事故実態に沿った内容の教本を作成して活用するなど、運転者の安全意識を高め、危険予知能力の向上を図るための講習内容の充実に努めた。

(2) 高齢者講習の充実

公安委員会と連携のうえ、高齢免許更新者の受講待ち期間の短縮を図ったほか、更新日切迫者に対する講習を迅速に実施した。

## 3 安全運転技能講習等の実施

(1) 二輪車安全運転講習会の実施

4月から9月までの6回、札幌運転免許試験場での開催を計画していた、二輪車安全運転講習会については、天候不良及び新型コロナウイルス感染症の拡大により中止した。

その後、感染者が減少傾向となったことから、新たに、10月17日、感染拡大防止対策を講じ実施（受講者34人）した。

(2) 二輪車安全運転北海道大会の実施

6月6日、札幌運転免許試験場において開催を計画していた、二輪車安全運転北海道大会については、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言期間中であったため中止した。

(3) 四輪車安全運転技能講習会の支援

全日本交通安全協会、日本自動車連盟（J A F）及び日本自動車工業会との三者共催で実施の「セーフティトレーニング」及び「シニアドライバースクール」を後援団体として支援した。

### 第3 交通安全対策に関する調査研究

#### 1 北海道警察との連携による交通情報の活用

北海道警察との連携により、道内の交通事故発生状況等の交通情報を活用し、交通ミニ統計3,800部を作成して、各地区交通安全協会及び関係機関・団体等に配布した。

#### 2 交通事故防止に資する調査研究

北海道警察から提供を受けた、交通事故の発生状況に係る統計データに基づき、重大交通事故の発生実態等の調査・分析を行い、交通事故防止に資するための資料

- スリップ事故の発生要因 注意すべき場所
- 吹雪など視界不良時における交通事故の実態
- 光と闇の危険!!

を作成し、北海道警察へ提供するなど有効に活用した。

### 第4 交通安全活動推進センター事業の積極的な推進

道路交通法第108条の31第1項により、公安委員会の指定を受けた機関として、同条第2項に掲げる事業等を積極的に実施した。

#### 1 交通事故防止関連書籍、資料の作成事業

##### (1) 交通事故防止関連書籍の作成

「セーフティドライブマップ（北海道版・札幌版）」、「癒やされぬ輪禍」、「交通を科学する」、「その悲劇まだ続けますか」を作成・配布して、交通安全の啓発を実施した。

##### (2) 交通事故防止関連資料の作成

交通規制を伴うマラソン、大規模なイベントや道路工事等に係わる交通規制広報代行業務を実施するに当たり、広報チラシの裏面を活用して、交通事故防止の啓発活動を実施した。

#### 2 交通規制等の広報代行業業

交通規制を伴うマラソン、大規模なイベントや道路工事等に関し、交通の安全と円滑を図るため、事前広報の代行業務を適正に実施した。

【代行事業実施状況】

区 分	事業数	チラシ配布数	ポスター配布数	ダイレクトメール数	看板等掲出数
令和3年度	4	64,900	0	1,970	0
前 年 比	+ 2	+ 24,500	± 0	+ 5	± 0

3 道路使用許可の調査事業

札幌市内及び旭川市内警察署管内の道路使用許可に関し、許可場所の道路又は交通状況の実態調査事業を適正に実施した。(実施状況は、第5の6のとおりである。)

4 交通事故相談事業

交通事故当事者、交通事故被害者等の相談に的確に対応するため、相談員研修会に参加するなど、資質と知識の向上に努めた。(相談取扱状況は、第8の2(2)のとおりである。)

第5 委託事業の適正な実施

1 自動車保管場所調査業務及び同データ入力業務

道内の自動車の保管場所申請に伴う現地調査・データ入力を適正に実施した。

【調査・入力実施状況】

区 分	調 査 件 数	データ入力件数
令和3年度	362,816	315,147
前 年 比	- 20,901	- 15,147

2 更新時講習及び停止処分者等講習業務

札幌方面の免許更新申請者及び停止処分者等に対する講習を適正に実施した。

【更新時講習実施状況（運転免許更新予定者に対して行う講習）】

区 分	違 反		初 回		一 般		優 良		特 定		合 計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
令和3年度	1,964	46,978	893	26,672	2,277	68,648	4,938	228,551	3	60	10,075	370,909
前年比	+138	-7,327	+25	+166	+10	-6,447	+323	+14,670	± 0	+23	+496	+1,085

【違反者講習実施状況（軽微な違反者に対して行う講習）】

区 分	社会参加を含む講習		社会参加を含まない講習		合 計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
令和3年度	95	504	110	366	205	870
前 年 比	- 9	- 237	± 0	- 80	- 9	- 317

【停止処分者講習実施状況（運転免許停止処分者に対して行う講習）】

区 分	短 期		中 期		長 期		合 計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
令和3年度	313	2,744	80	340	74	226	467	3,310
前 年 比	+4	- 59	-3	- 12	-10	+ 5	-9	- 66

【高齢者講習実施状況（70歳以上の高齢運転者に対して行う講習）】

区 分	臨時高齢者講習		更新時高齢者講習				合 計	
			合理化講習		高度化講習			
	回 数	受講者数	回 数	受講者数	回 数	受講者数	回 数	受講者数
令和3年度	35	63	457	1,993	22	77	514	2,133
前 年 比	- 2	- 19	+ 45	- 10	+ 7	+ 31	+ 50	+ 2

【認知機能検査実施状況（75歳以上の高齢運転者に対して行う検査）】

区 分	臨時認知機能検査		更新時認知機能検査		合 計	
	回 数	受講者数	回 数	受講者数	回 数	受講者数
令和3年度	76	622	0	0	76	622
前 年 比	+ 4	+ 5	± 0	± 0	+ 4	+ 5

3 運転免許証更新情報提供及び高齢者講習情報提供業務

道内の運転免許証更新予定者及び高齢者講習対象者に対する情報提供業務を適正に実施した。

【運転免許証更新情報提供実施状況】

区 分	札幌方面		その他方面		合 計	
	発送件数	未着率	発送件数	未着率	発送件数	未着率
令和3年度	479,711	1.80	303,184	1.69	782,895	1.79
前 年 比	- 7,469	- 0.20	- 9,728	+ 0.26	- 17,197	+ 0.20

【高齢者講習情報提供実施状況】

区 分	札幌方面	その他方面	合 計
	発送件数	発送件数	発送件数
令和3年度	98,668	93,474	192,142
前 年 比	+ 672	+ 14,046	+ 14,718

4 原付講習業務

札幌方面の原付免許の取得希望者に対する講習を厳正・的確に実施した。

【原付講習業務実施状況】

区 分	回 数	受講者数
令和3年度	21	274
前 年 比	+ 3	+ 50

5 地域交通安全活動推進委員講習等業務

公安委員会から委嘱された、全道の地域交通安全活動推進委員に対する効果的な講習会を開催するとともに、活動に必要な資料を提供した。

【研修会の開催及び会報紙の発行状況】

区 分	研 修 会		会 報	
	開催回数	参加者数	発行回数	発行部数
令和3年度	7	59	4	4,000
前 年 比	± 0	+ 24	± 0	± 0

【活動用資料等の作成・配布状況】

区 分	自転車事故 防止チラシ	高齢者事故 防止チラシ	違法駐車 防止チラシ	違法駐車防止 ステッカー	飲酒運転 根絶チラシ
令和3年度	99,000	99,000	99,000	33,000	99,000
前 年 比	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0

## 6 道路使用許可調査業務

委託を受けた札幌市内及び旭川市内警察署管内における道路の工事状況について、調査を適正に実施した。

【道路調査実施状況】

区 分	札幌市内署	旭川市内署	合 計
令和3年度	8,268	1,863	10,131
前 年 比	- 14	- 10	- 24

## 第6 交通安全功労者及び優良運転者等の表彰

### 1 全日本交通安全協会会長等表彰

交通安全運動の中核として積極的に活動し、交通事故抑止に貢献した交通安全功労者等を上申した結果、次表のとおり受賞した。

【交通栄誉賞（緑十字章）】

区 分	金 章	銀 章	銅 章	合 計
交通安全功労者数	4	12	32	48
優良運転者数	1	6	55	62
合 計	5	18	87	110

【交通安全優良団体等】

区 分	交通安全優良団体	交通安全優良学校	優良交通安全協会
受賞数	1 団体	0 校	3 協会

### 2 北海道警察本部長・北海道交通安全協会会長連名表彰及び会長表彰

交通安全運動の推進に貢献した交通安全功労者、団体及び優良運転者等を上申した結果、次表のとおり受賞した。

区 分	功 労 者		寄 付	運 転 者		連名表彰		合 計	
	個 人	団 体		20年	30年	功労者	運転者	個 人	団 体
札幌方面	7	13		25	19	11	5	67	13
函館方面	4	1		14	8	1	3	30	1
旭川方面		1		5	9	1	8	23	1
釧路方面		1		6	3	2	6	17	1
北見方面	5	1		1	6	4	6	22	1
合 計	16	17		51	45	19	28	159	17

## 第7 運転免許証関係申請（届出）者のための事業

### 1 運転免許申請用写真の撮影

運転免許証の再交付申請・国外運転免許証申請者に対する利便性を図るため、写真撮影事業を効率的に実施した。

○ 撮影件数…11,537件（前年比 -634件）

## 2 運転免許証の郵送

優良運転者の運転免許証経由申請に伴う代理郵送を含め、交付される運転免許証を都合により受領できない申請者等からの依頼を受け、書留郵便での郵送事業を適正に実施した。

○ 郵送件数…1,591件（前年比 +408件）

## 第8 地区交通安全協会等への支援

### 1 地区交通安全協会等の交通安全活動推進への支援

#### (1) 交通安全活動に対する支援

交通安全啓発品の配分及び交通安全運動事業費を助成したほか、啓発資料や交通安全情報の提供などの支援を行った。

また、地区交通安全協会が主催する街頭啓発やパトライト作戦等に際し、車庫調査員を積極的に参加させるなど、一体的な活動を展開した。

#### (2) 地区交通安全協会への入会促進活動の強化

##### ア 交通安全協力店割引制度の周知

入会促進の一環として導入した「交通安全協力店割引制度」を充実させるとともに、ホームページやセーフティドライブマップに協力店を掲載宣伝するなど、あらゆる機会を捉えて積極的な入会促進活動を推進した。

##### イ 統一会員証の作製・配布

入会者確保のため、これまで、多くの各地区交通安全協会が独自で作製・配布していた会員証について、経費削減等の支援を目的とした全道統一の会員証120,000枚を当協会において作製・配布し、令和4年4月1日以降の入会者から使用を開始した。

#### (3) 運転免許試験場のサービスコーナーにおける入会促進広報

運転免許試験場及び中央・厚別優良運転者更新センターのサービスコーナーにおいて、免許証の更新のために来場した利用者に対し、積極的な声かけ案内を行い、好感の持たれる窓口対応を行うなど会員の確保に努めた。

また、新規免許取得者に対し、試験場の学科試験会場において、地区交通安全協会の活動状況について分かりやすい事例を挙げて説明し、新規入会者の確保に努めた。

#### (4) 入会者に対する会員意識の醸成

運転に役立つセーフティドライブマップ等を提供したほか、無事故・無違反に対する各種表彰の広報、会員からの交通に関する照会・電話相談に応じるなど、入会者の会員意識の醸成に努めた。

## 2 交通事故等に係る被害者への支援

### (1) 交通事故被害者の会への支援

交通事故被害者の会の自主的な活動を支援するため、運営資金の助成、事務室の提供等を行った。



【交通事故被害者の会の活動状況】

会 員	総会	例会	会報発行	パネル展	講師派遣	フォーラム
123家族	0回	1回	年2回 3,200部	7会場(54日)	47回(6,134人)	0回

- コロナ禍のため、総会及び公開フォーラムの2年続けての中止を余儀なくされ、例会も兼ねる毎月の世話人会も1回に留まった。
- 交通事故被害者の尊厳と権利、被害根絶を求める要望書を今年も関係省庁及び道へ提出。会報やホームページ、「いのちのパネル」展示による広報活動も継続した。
- 北海道警察犯罪被害者支援室の事業「命の大切さを学ぶ教室」と連携し、中学・高校における体験講話、免許停止処分者講習、刑務所・少年院での矯正教育等に講師派遣を行った。

(2) 交通に関する困りごと相談、交通事故相談業務等の適正な推進

交通事故相談所において受理した相談取扱状況は、次表のとおり少ないが、親切丁寧に対応した。

区 分	相談受理件数			相 談 種 別				
	電話	面接	合 計	賠償責任	示談方法	過失割合	自賠責保険	その他
令和3年度	5		5	2				3
前 年 比	+4		+4	+2				+2

